

オンライン同時配信有り

第16回千葉県がん患者大集合2025

がん患者の**食べる**を考える ～日常生活を維持するために～

がんは手術をしたら終わり、というわけではありません。手術のあとも、バランスのとれた食事や適度な運動を続けることが大切です。筋肉量の減少を防ぐことで術後の回復を早めることも分かってきました。

また、食べることは体だけではなく心にも大きな力を与えてくれます。がんの治療中でも、おいしく食べて自分らしく過ごすことはとても大切です。

今年のがん患者大集合では、栄養のとり方や体力を保つための工夫を一緒に学んでいきましょう。

2025年

9月20日(土) 13:00～16:00

会場 **千葉県社会福祉センター 研修室 A**

千葉市中央区千葉港4番5号 千葉都市モノレール「市役所前駅」徒歩約5分

主催 千葉県がん患者大集合2025実行委員会 千葉県がん患者団体連絡協議会



質疑応答あります

現地参加 お申し込み不要



講師 **比企 直樹** (ひき なおき)さん

消化器外科の立場から

北里大学医学部 上部消化管外科学 主任教授

1990年北里大学医学部を卒業後、東京大学大学院医学系研究科修了。ドイツ・ウルム大学や東京大学医学部附属病院胃食道外科を経て、2005年よりがん研究会有明病院に14年勤務、2019年に北里大学医学部上部消化管外科学主任教授に就任後は上部消化管がんの手術に加え、医学部・栄養部合同の「栄養部」を開設、部長も兼任する。日本栄養治療学会副理事長、日本消化器外科学会理事



講師 **上野 順也** (うえの じゅんや)さん

がんのリハビリテーションについて

国立がん研究センター東病院 リハビリテーション科 リハビリテーション室長

2002年理学療法士免許取得。総合病院で臨床経験を積み、05年関西電力病院にてがんリハ部門の立ち上げを行う。12年国立がん研究センター東病院リハビリテーション科の立ち上げに従事し、18年より現職。日本理学療法士協会国際部会アジア人材育成プログラム委員



報告

第4期千葉県がん対策推進計画について 千葉県健康福祉部健康づくり支援課

講師はオンライン登壇の可能性があります

オンライン参加には申し込みが必要です、右のQRコード 又は裏面をご覧ください

お問い合わせ TEL:090-5203-9482 (五十嵐)

FAX:043-371-7462 e-mail: info@chiba-gan.com

申し込み用フォームはこちら→



主催: 千葉県がん患者大集合2025実行委員会 (構成団体: アイビー千葉(乳がん体験者の会)、京葉喉友会、NPO法人 支えあう会「α」、NPO法人 パンキャンジャパン) (50音順)

共催: 千葉県、千葉県がんセンター、千葉県がん診療連携協議会、(公社)千葉県医師会、(一社)千葉県歯科医師会、(一社)千葉県薬剤師会、(一社)千葉県医療ソーシャルワーカー協会、(公財)ちば県民保健予防財団

後援: 千葉市、柏市、(国研)国立がん研究センター、(公社)千葉県看護協会、(福)千葉県社会福祉協議会、(一社)千葉県社会福祉士会、(一社)千葉県訪問看護ステーション協会、(一社)日本癌治療学会、(公社)日本臨床腫瘍学会、(公財)日本対がん協会、朝日新聞千葉総局、読売新聞千葉支局、東京新聞千葉支局、千葉日報社、千葉テレビ放送、ベイエフエム

(2025年6月20日現在、最新のものはHPをご覧ください)